

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
基礎講座12							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名		実務経験		
鍼灸学科・昼間部	3年	2期	鬼頭 健介		○		
分野区分	教育課程			講義形式	単位	コマ数	
基礎分野	科学的思考の基盤人間と生活			座学	1	10	
科目概要							
鍼灸師になるにあたって、治療を行う上で、各部位の傷害を正しく評価することによって状態を把握し治療へとつなげていく。各部位の障害時の基本的な治療ポイントを理解することにより、臨床で困らずアプローチできるようにする。							
目標							
<b>一般目標(GIO)</b> <small>本講義を学習することで達成されるべき目標</small>	傷害発生時に正しく評価できるようになるために、解剖学の観点から体の構造を理解し徒手検査法の能力を習得する。障害発生からリハビリの過程で再発をさせないために、トレーニングの重要性を理解し適切なエクササイズの流れを習得する。そのなかで自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育て、健康な心身を維持出来るようにする。						
	<b>到達目標(SBO)</b> <small>一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各部位で起きる傷害を理解しイメージすることができる。</li> <li>各部位の臨床上効果的な徒手検査法を選定することができる。</li> </ul>					
履修に必要な予備知識や技能							
基礎的な解剖の知識							
教科書・参考書							
基礎的な解剖の知識							
受講上の注意							
常に治療にどのように活かしていくかを考えながら受講すること・他人に迷惑をかける行為は慎むこと・楽しむこと							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合(%)	100						100
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物		
第1回	実際の評価とリハビリにおける筋力訓練と治療ポイント① :足関節				筆記用具		
第2回	実際の評価とリハビリにおける筋力訓練と治療ポイント② :ハムストリングス肉離れ				筆記用具		
第3回	実際の評価とリハビリにおける筋力訓練と治療ポイント③ :腰痛				筆記用具		
第4回	実際の評価とリハビリにおける筋力訓練と治療ポイント④ :投球障害				筆記用具		
第5回	実際の評価とリハビリにおける筋力訓練と治療ポイント④ :投球障害②				筆記用具		
第6回	実際の評価とリハビリにおける筋力訓練と治療ポイント⑤ :膝				筆記用具		
第7回	実際の評価とリハビリにおける筋力訓練と治療ポイント⑥ :肘				筆記用具		
第8回	実際の評価とリハビリにおける筋力訓練と治療ポイント⑦ :首				筆記用具		
第9回	復習まとめ				筆記用具		
第10回	テスト				筆記用具		
実務経験と本講義との関連について							
スポーツトレーナーという仕事を通じて行ってきたトレーニングやエクササイズ・ストレッチ等の知識と、医療従事者として行っている施術技術や知識を本講義で伝えていく。							
メールアドレス							
kito-t@nihonisen.ac.jp							